

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	からだと疾病実習Ⅱ					授業形態	実習			
科目コード	307400	単位数	1単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○	
担当教員名	小川 恒夫							ICT活用	○	
授業概要	<p>解剖生理学の知識を定着させる事と、医療機関で行われる検査を理解する事を本実習の目的としている。 からだと疾病Ⅰ、Ⅱの座学では教科書やプリントで解剖学や生理学を勉強した。臓器は立体的なもので教科書やプリントでは理解しにくい部分がある。人体や組織図をスケッチすることによって理解を深めてもらいたいと考えている。また酸素飽和度測定など医療機関で行われる検査を実際に体験する事により、検査の目的や結果の評価の仕方を学んでもらいたいと考えている。 実習で学んだ知識が医療現場でどのように役立つかを、病院での実務経験のある教員による説明を受けながら実習を行ってもらう。実習の資料は毎回ユニバで配信する予定である。</p>									
関連する科目	本授業の履修前に受講することが望ましい科目：からだと疾病Ⅰ・Ⅱ、からだと疾病実習Ⅰ、臨床医学Ⅰ 本授業の履修後に受講することが望ましい科目：臨床栄養Ⅱ～Ⅳ									
授業の進め方と方法	各臓器の解剖生理、病理について理解するために、模型や顕微鏡写真のスケッチ、課題の解決、国試問題の解答と言う流れで、学習する。 さらに理解を深めるために、それぞれの臓器に関連する実験を適宜追加する。 教科書だけだとわかりにくい部分があると思われるので、1年生の時に理解できていなかった部分を今回の実習で、理解するようにする。									
授業計画【第1回】	1. 感染症について ウイルスと細菌の違い、ワクチンの仕組みについて学ぶ。									
授業計画【第2回】	2. 病理、検査、治療について 炎症、肥大、萎縮などの病理学、画像検査や生理機能検査などの検査、対処療法や原因療法などの治療法を学ぶ。									
授業計画【第3回】	3. 腎について 尿検査試験の実験を行い、腎臓の解剖生理を学ぶ。									
授業計画【第4回】	4. 皮膚について 温点、痛点、冷点の分布の実験を行い、皮膚の解剖生理について学ぶ。									
授業計画【第5回】	5. 視覚器、嗅覚器について 対抗反射、眼振の実験を行い、視覚器、嗅覚器の解剖生理を学ぶ。									
授業計画【第6回】	6. 聴覚器、平衡感覚器について 気伝導、骨伝導についての実験を行い、聴覚器、平衡感覚器の解剖生理を学ぶ。									
授業計画【第7回】	7. 神経系について 認知症、パーキンソン病について学ぶ。									
授業計画【第8回】	8. 先天性代謝異常、遺伝、代謝疾患について 先天性代謝異常、遺伝形式、アディポサイトカインの働きについて学ぶ。									
授業計画【第9回】	9. 酸素飽和度、酸アルカリについて 酸素飽和度測定実験を行い、アシドーシス、アルカローシスについて学ぶ。									
授業計画【第10回】	10. 血圧について 血圧を規定する因子について学び、条件を変えて血圧測定を行う。									

授業計画 【第11回】	1 1. 肝胆臓 肝胆臓にの解剖生理、肝炎ウイルスを学ぶ。
授業計画 【第12回】	1 2. 末梢血液の演習 血液検査について、患者のデータから疾患を推測する。
授業計画 【第13回】	1 3. 筋肉について 筋肉についての解剖生理、サルコペニアを学ぶ。
授業計画 【第14回】	1 4. 婦人科疾患 子宮内膜症、妊娠糖尿病、妊娠高血圧を学ぶ。
授業計画 【第15回】	1 5. まとめ レポートのチェック、確認テスト
授業の到達目標	各臓器についての解剖生理、病理を理解する。【知識・理解の獲得】 各臓器に関連した実験を行うことにより、知識を深める。【知識・理解の深化】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	次の授業内容について教科書、1年生のプリント、実習のプリントを読んで来ること。(1時間程度)
授業時間外学習【復習】	その日に実習で勉強した内容を教科書やプリントを見て確認すること。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	レポート、スケッチを採点后返却します。
評価方法・基準	実習中のスケッチ、課題、小テスト、実習確認テスト(90点) 実習態度(10点) を総合して行う。
テキスト	臨床検査ハンドブック 医歯薬出版
参考書	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 総論、各論Ⅰ 各論Ⅱ 南江堂 疾病の成り立ち：臨床医学[第4版] 田中明 著 (建帛社)
備考	